

けやき

龍ヶ崎市立城西中学校
学校だより

2020. 1.14 号

文責 根本 清史

320人 (1年99, 2年102, 3年119)

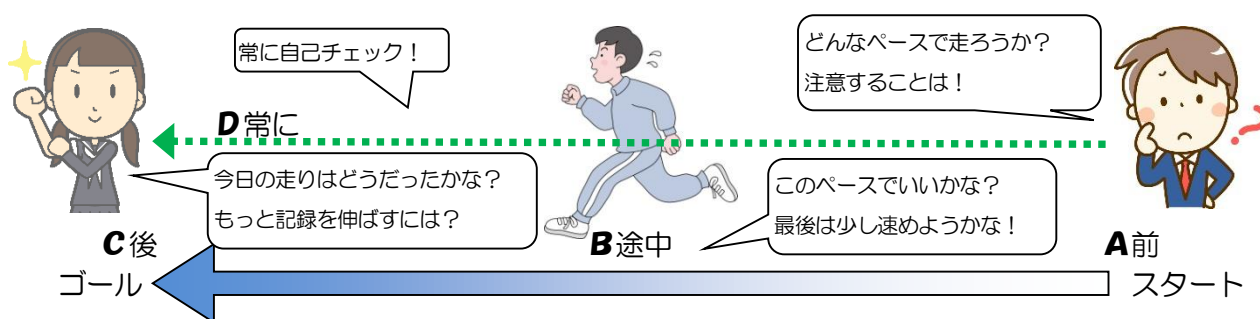
<https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/jyosaichu/index.html>



自分の行動を考える

生徒が学校生活や家庭生活を送る上で、様々な場面で考えることを自然に行っています。もちろん、授業の中で学習課題について考えたり、友だちからの相談に応じて考えたりすることもあるでしょう。今回は自分自身が行動をする時の考えるタイミングについて紹介したいと思います。

例えば、ランニングをしてゴールを目指すという時には『**A**走る前 **B**走っている時 **C**走った後 **D**常に』というような分類ができるでしょう。【運動以外の面でも考えてみましょう】



義務教育のまとめとなる中学校生活では上手くいった経験（成功）や思い通りにいかなかった経験（失敗）を通して学び、社会に出てからの基本となる行動を身に付けます。人は十人十色ではありませんが、人によって行動する時の思考は異なります。どのタイミングで考えるかは、行動する内容にもよるので「これが良い」ということはありません。

大切なことは上手くいった時に何が良かったのかを自分自身で理解することだと思います。

始める前に**どうすれば良いか**考えたから。 **A**

途中で**やり方を変える**ことに気付いたから。 **B**

前回の**反省をいかして**取組むことができたから。 **C**

色々なことを**考えながら**行動することができたから。 **D**

逆に**上手くいかなかった時**（失敗した時）や何も考えずに行動したために、周りの人に迷惑をかけることになった時などは“考える習慣”を付けることが大切になります。どこがいけなかったか理解できれば（**C**に該当）、**ABC**のどこかで考えることにつなげることができます。

このような時に意識したいことは、自分の行動を振り返ることです。『まいいや!』『仕方がないかな?!』という意識だけで生活していると思えや行動を変えることができず“人としての成長”にはつながりません。成功や失敗、周りの人に迷惑をかけた、約束や時間を守れなかった経験を次につなげていくことが大切になるように感じます。

私たち教師も保護者の方々もしっかりと子ども（生徒）を見守りながら、良い点を認めて称賛し、改善が必要なことがあれば子ども（生徒）と向き合って話をすることが大切だと思います。

成人式



1月12日に市内の各中学校を会場として、「龍ヶ崎市成人式典」が行われました。城西中学校会場では149人(男80女69)が式典に参列しました。今年の成人は本校を平成26年度に卒業した人たちです。9人の実行委員を中心にして、事前準備・運営・片付けと丁寧な活動ぶりでした。代表者の抱負発表もあり「責任ある行動をとれる大人になる」という内容でした。城西中の先輩方が成人にふさわしい態度と姿勢で式典に臨んでいたの嬉しく思います。おめでとうございます。